

第 36 回全日本少年サッカー大会岐阜県大会 要項

1. 趣 旨 日本を将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術、理解を向上させると同時にサッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子供たちや周囲の大人がサッカースポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
2. 名 称 第 36 回全日本少年サッカー大会
3. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団、読売新聞社
4. 主 管 一般財団法人岐阜県サッカー協会 4 種委員会、飛騨地区サッカー協会 4 種委員会
5. 後 援 文部科学省、岐阜県教育委員会、日本テレビ放送網、報知新聞社、飛騨市教育委員会
中京テレビ放送
6. 特別協賛 コカ・コーラ セントラル ジャパン、 Y K K、花王
7. 協 賛 日清オイリオグループ、日本マクドナルド、ゼビオ、ゆうちょ銀行
8. 協 力 アディダス ジャパン、マイクロソフト
9. 期 日 平成 24 年 6 月 2 日(土)～3 日(日)、開会式：6 月 2 日(土)
監督・審判会議 2 日(土) 8 時 00 分～ 古川ふれあい広場(人工芝)
開会式 8 時 30 分～ “ ”
閉会式 3 日(日) 14 時 50 分～ “ ” (天然芝)
10. 会 場 1 次リーグ：古川ふれあい広場(人工芝)、古川ふれあい広場(天然芝)
決勝トーナメント：古川ふれあい広場(天然芝)
飛騨市古川町黒内
11. 参加資格 (1) 大会実施年度に第 4 種及び女子(小学生)に加盟登録したチームであること(準加盟チームを含む)。
(2) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
(3) 上記チームに所属する選手であり、JFA 発行の登録選手証を有するもの。

(4) 地区大会から県大会に至るまで同一選手が異なるチームの移動は認めない。
(5) 大会出場選手資格証明書を 1 週間前までに各地区委員長に提出してすること。

12. 参加チーム及びその数

- (1) チームの構成は、選手 12 名以上 16 名以内、引率指導者 4 名以内とする。
- (2) 6 年を中心としたチーム構成とする。チーム事情によっては 6 年を含めた 3 学年のチームも可とする
- (3) 引率指導者は当該チームを掌握する責任ある指導者であること。また、内 1 名以上が本協会公認コーチ資格(D 級コーチ以上)を有すること。(他チームとの重複は認めない)
- (4) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (5) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- (6) 審判 2 名を帯同させること(他チームとの重複は認めない)(審判手帳持参)

13. 競技方法

- (1) 1 チーム 8 人の競技者によって行われる。本大会は 8 人に満たない場合は試合を開始しない。試合中もピッチ内には常に 8 人の競技者がいること。
- (2) 16 チームを 4 グループに分け 1 次ラウンド(1 グループ 4 チームのリーグ戦)を行い、各グループ上位 2 チームが決勝トーナメントに進出する。
- (3) 1 次ラウンドにおける順位の方法は、勝利 3 点、引分 1 点、敗戦 0 点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
①全試合の得失点差 ②全試合の総得点③当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
④①~③の全項目において同一の場合は、3 人ずつの PK 戦とし後はサドンデスとする
- (4) 決勝トーナメントにおける 3 位決定戦は実施しない。
- (5) 試合時間は 40 分(20 分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは 10 分とする。規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は 1 次ラウンドにおいては引き分けとする。
決勝トーナメントにおいては、トーナメント準々決勝・準決勝は、PK 方式により次回戦への進出チームを決定する。決勝は、10 分(5 分ハーフ)の延長戦(V ゴール方式ではない)を行い、なお決しない場合は 3 人ずつの PK 方式により勝利チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは 5 分、PK 方式に入るまでのインターバルは 1 分とする。

14. 競技規則

公益財団法人日本サッカー協会「8 人制サッカールールと審判法」「8 人制サッカールール」による。

但し、以下の項目については特に少年用として大会規則を定める。

- (1) 交代要員 8 名とし、8 名までの自由な交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場出来、何回でも交代可能とする。
- (2) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会において、異なる試合において警告を 2 回受けた競技者は次の 1 試合に出場できない。なお、1 次ラウンドにおける警告処分は、決勝トーナメントへは持ち越さないものとする。ただし、1 次ラウンドにおける出場停止処分が未消化の場合は、決勝トーナメントに持ち越され適用する。
- (4) ベンチに入ることができる人数は 8 名(交代要員 8 名、引率指導者 4 名)とする。
- (5) 審判は主審 1 名・副審 2 名・第 4 の審判員で行う。
- (6) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度た

だ1人の引率指導者が伝えることができる。

- (7) アディショナルタイムの表示については決勝トーナメントのみ実施する。
- (8) 暑熱下において前・後半の中程で飲水タイムを採用する。飲水タイムの有無を前・後半開始前に両チームへ通告する。
- (9) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- (10) 本大会に参加する競技者は、本協会の発行した登録選手証(写真貼付されたもの)を持参すること。不携帯の競技者は、当該試合への出場を認めない。
- (11) 本大会に登録する引率指導者のうち本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)所有者は、本協会の発行した公認指導者ライセンス認定証を持参すること。
- (12) 競技場については天然芝、人工芝のグラウンドを使用する(好ましい)。
- (13) ピッチサイズ：縦68m以内、横50m以内
ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポストの内側から12m、その地点からゴールラインに直角12m
ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポストの内側から4m、その地点からゴールラインに直角4m
センターサークル：半径7m ペナルティマーク：8m
ペナルティアーク：半径7mの半円弧 コーナーアーク：1m
ゴール：ゴールの内り縦2.15m、横5m
交代ゾーン6mを設ける：ハーフウェイラインを挟んで3mづつ
- (14) グリーンカード制度を導入する。

14. 参加申込 (1) 参加申込し得る人員は、選手12名以上16名まで、引率指導者4名を最大とする。

15. 参加料 10,000円とする

16. 組合せ 年度初め各地区委員長の抽選にて決定します。

17. ユニフォーム (1) ユニフォームは参加申込時に登録したユニフォームを着用すること。ただし、チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。またチームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。背番号は1~16の通し番号が望ましい。
- (2) ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき平成24年4月29日(金)までに本協会に承認された場合のみこれを認める。ただし、第4種大会部会が別途定める規程に基づき広告表示を認めるものとする。尚、大会使用会場の広告扱いとして費用が発生した場合は、当該チームの費用負担とする。
- (3) その他の事項については公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程に則る

18. 表彰 (1) 優勝チームには賞状、トロフィー、代表証
準優勝には賞状、トロフィー・第3位チーム賞状、トロフィー
その他敢闘賞・努力賞・グッドマナー賞としてそれぞれ楯を授与する。
* 優勝チームには激励金として4種員会より5万円支給する。

- その他 (1) 全国大会は7月30日(月)~8月4日(土)詳細は別紙参照(出場チームに渡します)
- (2) 大会出場資格証明書は各チーム必要枚数をコピーして持参すること。